

革命思想としてのチュチェ思想

アジア・チュチェ思想研究所書記次長
ネパール自力更生研究フォーラム会長
スバシユ・カジ・シュレスタ

チュチェ思想はわれわれの時代の偉大な思想です。

金日成・金正日主義の基礎であり、中核であるチュチェ思想は、哲学史上はじめて人間を哲学的思考の中心に据えてすべての哲学的問題を提起し解決していく、人間、人民大衆中心の哲学思想です。

チュチェ思想は人間を世界の単なる一部分ではなく、世界の主人、支配者と見なし、人間との関係で世界観を確立しました。

チュチェ思想は世界が人間によって支配され改造されるという世界に対する見解と、人間を中心に世界に対する観点と立場を解明しました。

チュチェ思想は自然とは異なって社会的運動にはこの運動を目的意識的に起こし、推進する主体があるということ、人民大衆が歴史の主体であり、社会的・歴史的運動は人民大衆の自主的で創造的かつ意識的な運動であることを解明しました。

人間があらゆるものの主人であり、すべてを決定するというチュチェ思想の根本原理は金日成・金正日主義の基礎と出発点となります。

チュチェ思想が金日成・金正日主義の真髄であるのでため、金日成・金正日主義の構成要素をなす革命理論と指導方法はチュチェの革命理論と指導方法となります。

チュチェの革命理論は人間中心の哲学思想であるチュチェ思想にもとづいていることにより、人民大衆を中心に据えて彼らの底知れない力に依拠する革命の原則と理論について解明しています。

チュチェの革命理論は勤労大衆と彼らの役割にもとづいた革命の戦略戦術を展開した革命理論です。人民大衆が自主的に、創造的に遂行すべき、民族解放、階級解放、人間解放理論と社会改造、自然改造、人間改造の理論はチュチェ思想に根ざしています。

チュチェの指導方法は人間中心の哲学思想であるチュチェ思想に基づいていることにより、革命と建設の主人である人民大衆が自己の役割を果たすようにするもっとも立派な大衆指導方法です。

チュチェの指導方法は人民大衆が革命と建設の主人として自己の立場を堅持し役割を果たせるようにする方法です。

対人活動を基本にしてすべての問題を解決していく方法と人民の革命的熱意と創造力に依拠する方法などを含めた革命をおこなう方法は、チュチェ思想に基づいています。